

【第30回3級(管理業務)実技試験】

(はじめに)

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2018年1月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

- 1 精密機械メーカーX社のエンジニア甲は、自動車製造用のロボットAの開発をしている。甲は、知的財産部の部員乙にロボットAに関連して、特許出願できる発明があるか否かの相談をした。甲は、発言1～3をしている。

発言1 「ロボットAは自動車製造のためのものですが、熟練した技能工の動きを再現したものであり、いわゆる個人の技能に関するものですから特許法上の保護対象である発明に該当しませんよね。」

発言2 「ロボットAについて、技術的な効果に加えて、機能美を追求して他社の製品との差別化を図るために、外部の工業デザイナーにロボットAのデザインを依頼しました。ロボットAはデザイン的に優れた創作物であるといえますので、特許法上の保護対象である発明には該当しませんよね。」

発言3 「ロボットAを制御するために新たなコンピュータ言語を開発しました。このようなコンピュータ言語は、コンピュータ・プログラムの一種といえますから、特許法上の保護対象である発明に該当しますよね。」

以上を前提として、問1～問6に答えなさい。

問1

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問2

問1において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問3

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問4

問3において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【第30回3級（管理業務）実技試験】

問5

発言3について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問6

問5において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群I】

- ア 自然法則を利用したといえないため
- イ 技術的思想といえないため
- ウ 高度の創作といえないため
- エ 発明に該当するため

【第30回3級(管理業務)実技試験】

2 食品メーカーX社の甲は、著作物について発言1～3をしている。

発言1 「全国の特産品を独自の観点で選び、特産品の販売店をジャンル別に分類した電話帳を作りました。これまでテレビ等で紹介されたことのなかった特産品を取り扱っている販売店も多数紹介されていると好評です。この電話帳は、著作権法上の著作物として保護されます。」

発言2 「来年の秋から、わが社は食品関係の新しい通信販売サービスを行う予定です。そこで、この通信販売サービスの名称として、ローマ字5文字からなるものを考えました。このサービスの名称をゴシック体で表しただけの文字は、著作権法上の著作物として保護されません。」

発言3 「最近人気の冷凍食品を開発した食品メーカーY社の乙を招いて、開発ストーリーを講演してもらいました。この講演は、著作権法上の著作物として保護されません。」

以上を前提として、問7～問12に答えなさい。

問7

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問8

問7において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問9

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問10

問9において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問11

発言3について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問12

問11において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【第30回3級（管理業務）実技試験】

【理由群Ⅱ】

- ア 著作物にあたらなため
- イ 編集著作物にあたるため
- ウ 言語の著作物にあたるため
- エ 美術の著作物にあたるため

【第30回3級(管理業務)実技試験】

3 問13～問26に答えなさい。

問13

電機メーカーX社の知的財産部の部員甲は、Y社が新規な製品Aを開発しエアコン事業に新たに参入したことに関する新聞発表の記事Bを読んだ。エアコン事業は、X社が多く企業と競合しつつ継続している事業分野である。ア～ウを比較して、甲の対応として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 記事Bを調査し、製品AがX社の特許権の権利範囲に属する可能性のあるものを抽出するとともに、製品Aが明細書には記載されているが特許請求の範囲には記載されていない新たな発明については、特許権の分割を請求することとした。
- イ 記事Bを調査し、製品AがX社の特許権の権利範囲に属する可能性のあるものを抽出するとともに、まだ審査されていない特許出願については、出願当初の明細書等の範囲内で特許請求の範囲に製品Aが含まれるように補正することとした。
- ウ 記事Bを調査し、製品AがX社の特許権の権利範囲に属する可能性のあるものを抽出するとともに、存続期間が満了しそうな特許権については、存続期間の延長登録出願をすることとした。

問14

食品メーカーX社は、商標Aについて「食パン」を指定商品として商標登録出願をし、登録査定を受けた。この商標Aについて、X社の知的財産部の部員甲が営業部の部員乙に説明している。ア～ウを比較して、甲の説明として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 商標Aに係る商標権は、登録料を納付することにより発生し、存続期間は、商標登録出願の出願日から10年である。
- イ 商標Aについて、登録料を分割して納付することが可能であり、分割納付を選択した場合の後期分の登録料は、設定登録日から7年経過後であっても納付できる場合がある。
- ウ 商標Aに係る商標権について、通常使用権がY社に許諾され、Y社が商標Aを使用している場合であっても、Y社は存続期間の更新登録の申請をすることはできない。

【第30回3級（管理業務）実技試験】

問15

通信機器メーカーX社は、固定電話機に関する特許権Aを有しているが、事業戦略の変更により、固定電話機の事業を縮小することとした。そこで、X社は、特許権Aについて、他の会社にライセンスして、有効活用したいと考えている。ア～ウを比較して、特許権Aのライセンス契約に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。なお、ライセンス契約において許諾する範囲は、特許権Aのすべての範囲とする。

- ア 特許権Aについて、Y社に対して、特許権Aに係る特許発明をY社のみが実施できるとする通常実施権を許諾することはできない。
- イ 特許権Aについて、Y社に全範囲とする専用実施権を設定した後も、X社は特許権Aに係る特許発明を実施することができる。
- ウ 特許権Aについて、Y社に通常実施権を許諾した後に、さらにX社はY社の同意なくZ社に通常実施権を許諾することができる。

問16

ア～ウを比較して、意匠登録出願に係る意匠に関して、創作容易な意匠であるとして拒絶理由が通知される可能性の低いものとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 公然知られたペンケースのファスナーを意匠登録出願前に公然知られていないズボンのファスナーに置換した、ズボンの意匠
- イ ありふれたオートバイの形状を、そのまま、オートバイのおもちゃに転用した、商慣行上行われている転用による意匠
- ウ 公然知られたデザインが付されたカーテンに、公然知られた模様を付した、寄せ集めの意匠

問17

化学品メーカーX社の知的財産部の部員甲は、特許協力条約（PCT）に基づいて国際出願をすることを検討している。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「X社が国際出願した後、所定の期間内に国際調査機関に対して国際調査を行うことを請求しなければ、国際調査は行われません。」
- イ 「X社が国際出願した後、所定の期間内に国際予備審査機関に対して国際予備審査請求をした場合に限り、国際予備審査は行われます。」
- ウ 「X社は国際出願した後、所定の期間内に国際事務局に対して国際公開の請求をすることができますが、請求がなくとも国際公開されます。」

【第30回3級(管理業務)実技試験】

問18

ア～ウを比較して、産業上利用することができる発明に該当する発明として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 物理の実験にのみ用いられる特別な形状をした実験用ビーカー
- イ 食堂における食事を効率的に配膳する装置
- ウ 人間を診断するための方法

問19

ア～ウを比較して、意匠登録出願に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア うちわと一体不可分の関係にある柄の部分について、意匠登録を受けることができる。
- イ 折りたたみ傘の形状が、当該折りたたみ傘の有する機能に基づいて変化する場合において、その変化の前後にわたるその折りたたみ傘の形状について意匠登録を受けることができる。
- ウ 一組の紅茶セットについて意匠登録出願をした場合、紅茶セットに係る構成物品の形状等に全体として統一があっても、複数の物品を含むことを理由として意匠登録を受けることはできない。

問20

ア～ウを比較して、商標登録出願に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 一般社団法人が「意匠権に関する手続の代理」を指定役務として、商標登録出願をした場合には、商標登録を受けることができない。
- イ 商標登録出願に係る商標を「平成」とし、指定商品を「ドレスリング」として、商標登録出願をした場合であっても、商標登録を受けることができる。
- ウ 商標登録出願に係る商標を「天然塩」とし、指定商品を「こしょう」として、商標登録出願をした場合であっても、商標登録を受けることができる。

【第30回3級(管理業務)実技試験】

問21

ア～ウを比較して、著作権の侵害に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 自分の父親が会社の会議で使用するために、父親に頼まれて市販の資料をコピーする行為は、私的使用のための複製にあたり、複製権の侵害とはならない。
- イ 商店街の風景を撮影した際にお店の店頭にあった映画のポスターが意図せず小さく写り込んでしまった写真を雑誌に掲載する行為は、複製権の侵害となる。
- ウ 著名な漫画家直筆のイラストを友人に貸す行為は、貸与権の侵害とはならない。

問22

事務用品メーカーX社は製品Aを製造販売している。X社は、競合メーカーY社の製品Bをターゲットにして、製品Aの製造方法に係る特許権Pの権利行使について社内会議をしていた。ア～ウを比較して、X社の社員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「Y社の製品Bは中国で生産されて欧州で販売されていますので、製品Bに対して、日本の特許権である特許権Pに基づいて権利行使をすることはできないと思います。」
- イ 「特許権Pは製品Aの製造方法に係る発明であり、製品A自体についての特許を取得していないので、たとえ製品Bの製造方法が特許権Pを侵害するものであっても、製品Bに対して、特許権Pに基づいて権利行使をすることはできないと思います。」
- ウ 「わが社は、特許権Pの出願日の3カ月前に製品Aに係る発明の内容を新聞で発表し新規性喪失の例外手続をして特許出願をしました。製品Bの発売日はその新聞発表日の後ですが特許権Pの出願日前ですので、製品Bに対して、特許権Pに基づいて権利行使をすることはできないと思います。」

問23

ア～ウを比較して、著作権法上の同一性保持権の侵害に該当する可能性が高い行為として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 自分の好みに合わせるため、著作者から購入した絵画の一部の色を変更する行為
- イ 学期末テストの問題を作成するため、小説の一部分を引用し漢字から平仮名にする行為
- ウ 老朽化したため、有名な建築家が設計したホテルを改築する行為

【第30回3級(管理業務)実技試験】

問24

電機メーカーX社の知的財産部の部員甲は、日本にした特許出願Aに基づいて、パリ条約上の優先権を主張して米国に特許出願Bをすることを検討している。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「特許出願Aに対して拒絶理由が通知された場合、特許出願Bについて特許出願Aに基づくパリ条約上の優先権の主張は認められません。」
- イ 「特許出願Aについて出願審査請求をした後は、特許出願Aに基づいてパリ条約上の優先権を主張して特許出願Bをすることはできません。」
- ウ 「特許出願Aに基づいてパリ条約上の優先権を主張して特許出願Bをした場合であっても、特許出願Bの出願日は、特許出願Aの出願日となりません。」

問25

家電メーカーX社は、新規な模様が描かれた掃除機Aについて意匠登録出願を検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員甲の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 掃除機Aについて意匠登録出願をした場合、出願後、当該意匠登録出願を商標登録出願へ出願変更をすることはできない。
- イ 掃除機Aについて意匠登録出願をした場合、出願後、秘密意匠の請求をすることができる場合はない。
- ウ 掃除機Aについて意匠登録出願をした場合、出願後、審査遅延制度の手続によって審査官の審査を遅らせることができる。

問26

X社はリンゴの品種Aについて品種登録を受けている。ア～ウを比較して、育成者権に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社から購入した品種Aの特性を確認するために研究機関で品種Aの種苗を増殖する場合には、X社の許諾を得る必要はない。
- イ X社から購入した品種Aの種苗を育てて得られた収穫物を販売する場合、X社の許諾を得る必要がある。
- ウ X社から購入した品種Aの収穫物の一部を農家が次の作付けのために使用する場合、X社の許諾を得る必要がある。

【第30回3級(管理業務)実技試験】

4 問27に答えなさい。

問27

自動車メーカーX社は、自社の社員がした発明について2018年6月15日に特許出願Aをした。この場合、特許出願Aの出願審査請求をすることができる最終日が属するのは西暦何年何月になるか求めて、算用数字で解答用紙に記入しなさい。

5 次の発言は、X社の知的財産部の部員が、商標登録の要件と商標登録無効審判に関して、後輩部員に説明しているものである。問28～問30に答えなさい。

「先に出願された の登録商標と同一又は類似の商標であって、その商標登録に係る指定商品等と同一又は類似の指定商品等について使用をする商標は、商標登録を受けることができません。それにもかかわらず商標登録された場合には、商標掲載公報の発行の日から 以内に限り、登録異議の申立てをすることができます。また、商標登録無効審判を請求することができますが、 から5年を経過した後は、請求することができません。」

問28

空欄 に入る最も適切な語句を【語群Ⅲ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問29

空欄 に入る最も適切な語句を【語群Ⅲ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問30

空欄 に入る最も適切な語句を【語群Ⅲ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

【語群Ⅲ】

商標登録出願の日 2カ月 商標権の設定の登録の日 他人
自己 3カ月 商標登録出願の公開の日 5カ月

【第30回知的財産管理技能検定】

【3級実技】

番号 正解

問1 ×

問2 エ

問3 ×

問4 エ

問5 ×

問6 ア

問7 ○

問8 イ

問9 ○

問10 ア

問11 ×

問12 ウ

問13 イ

問14 ウ

問15 ウ

問16 ア

問17 ア

問18 ウ

問19 ウ

問20 ア

問21 ウ

問22 イ

問23 ア

問24 ウ

問25 ア

問26 ア

問27 (西暦)2021(年)6(月)

問28 他人

問29 2カ月

問30 商標権の設定の登録の日